



## 平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月5日

上場会社名 マニー株式会社  
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 松谷 正明  
 (氏名) 高井 壽秀

TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	6,639	△6.7	2,122	△19.3	2,376	△10.2	1,507	△7.5
24年8月期第3四半期	7,116	5.0	2,631	5.4	2,645	3.1	1,629	20.7

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 2,472百万円 (45.0%) 24年8月期第3四半期 1,704百万円 (46.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	134.28	—
24年8月期第3四半期	143.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	22,020	20,195	91.7
24年8月期	21,242	19,148	90.1

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 20,195百万円 24年8月期 19,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	31.00	—	31.00	62.00
25年8月期	—	31.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,086	△6.3	3,159	△9.2	3,280	△6.8	2,033	△6.7	181.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期3Q	11,879,000 株	24年8月期	11,879,000 株
25年8月期3Q	768,196 株	24年8月期	544,396 株
25年8月期3Q	11,229,578 株	24年8月期3Q	11,386,397 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における医療機器業界は、不透明な景気動向の下、各国の医療費抑制政策も厳しさが続いているものの、新興国では人口の増加及び経済発展に伴う医療インフラの整備が進み、先進国では先進医療の導入が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでおります。一方、不安定ながら円安傾向の定着化、米国の穏やかな景気回復、日本経済の回復の兆しといった明るさは見え始めているものの、ヨーロッパ市場の低迷、新興国市場の先行き警戒感、グローバルレベルでの競争激化、病院のコスト削減を求めたグループ購入化等、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境下、当社グループにおきましては、今後需要の拡大が見込まれる新興国市場での売上増加を狙い、新たな販売拠点として、昨年9月中国に馬尼（北京）貿易有限公司を設立し、現地マーケティングの本格化や新たな代理店網の整備を進めております。全体の売上は、国内での好調にも拘らず、アイレス針関連製品を中心とした海外での価格競争の激化による一部製品の値下げの影響が大きく、期待される販売数量の増加には時間を要していることから、下方修正後予想の範囲内ながら低調な水準で推移いたしました。

一方、生産面について、海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点MANI HANOI CO., LTD.（当社100%出資）は、前連結会計年度に引き続き、日本からの生産工程移管による生産規模の拡大、ならびに品質向上と原価低減を実現するため、フーエン第7期工場の建設・整備を進め、竣工に目途をつけました。またミャンマーの生産拠点MANI YANGON LTD.（MANI HANOI CO., LTD. 100%出資）につきましては、ミャンマーの民主化の進展を確認できたことから、ベトナム生産拠点への一極集中を回避するため、増築・生産能力増強の準備を進めてまいりました。さらに、ラオスの生産拠点MANI VIENTIANE SOLE CO., LTD.（MANI HANOI CO., LTD. 100%出資）につきましては、生産品目を追加するとともに、社員の定着化・品質の安定化に努めてまいりました。国内工場におきましては、新製品の量産準備と並行して、引き続き海外拠点への生産工程移管に注力した結果、既存製品工程移管の最終段階へ移行いたしました。

開発面では、引き続き、生産技術開発・既存製品改良研究を行うとともに新製品開発に力を入れ、当第3四半期連結累計期間中の新製品として、「LRIナイフ」「ステントグラフト（川澄化学工業㈱）の金属骨格」（サージカル関連製品）、「NiTiフレアースプレッター」「NiTiプラガー」「Mカーバイドバー（リムーバルタイプ）」「ステンレスバーハード」「NiTiフレアーフイル」「NiTiHフイル」（デンタル関連製品）を発売いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,639百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は、2,122百万円（同19.3%減）、経常利益は、2,376百万円（同10.2%減）、四半期純利益は、1,507百万円（同7.5%減）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### （サージカル関連製品）

競争の激化によりステイプラーの売上が低調に推移したものの、前連結会計年度に引き続き眼科ナイフが好調に推移したこと、眼科PGA針付縫合糸の販売を再開したこと、ならびにアイド針の輸出が増加したことに加え、新製品も好調に推移したこと等から、売上高は、2,490百万円（前年同期比8.4%増）となりました。一方、売上高は増加したものの、販売費及び一般管理費も増加したこと等から、セグメント利益（営業利益）は777百万円（同0.5%増）となりました。

#### （アイレス針関連製品）

一部製品について値下げしたものの、値下げ及び円安効果による新規顧客の獲得や既存顧客への販売数量増加には時間を要しており、大口顧客も年初から在庫調整に入ったこと等から、売上高は1,993百万円（前年同期比21.9%減）となりました。また、売上高が減少したことに加え、従来から取り組んでいる原価低減策がまだ途上にあるため、当該売上減少を吸収できず、セグメント利益（営業利益）は、911百万円（同24.6%減）となりました。

#### （デンタル関連製品）

円安効果は徐々に現れているものの、新興国市場で広がるニセブランド品対策の浸透には時間を要することから、中国及びロシアでの販売が伸び悩み、リーマ・フイル、ピースリーマ等の売上が低調に推移したこと等から、売上高は、2,155百万円（前年同期比5.0%減）となりました。また、売上高が減少したことに加え、利益率の高い製品の売上割合が低下したこと、さらに販売費及び一般管理費が増加したこと等から、セグメント利益（営業利益）は433百万円（同33.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ777百万円増加し、22,020百万円となりました。これは主に、現金及び預金、有価証券が減少した一方、機械装置及び運搬具、投資有価証券、ならびに有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ269百万円減少し、1,825百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払費用が増加した一方、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,046百万円増加し、20,195百万円となりました。これは、自己株式の取得により減少した一方、利益剰余金の増加ならびに為替換算調整勘定及びその他有価証券評価差額金の影響により増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成25年3月18日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、全ての有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更しております。

当社グループはグローバル展開が加速する中で、グローバル市場でのシェア拡大及び原価低減を図るため、海外子会社への生産移管を進めております。これに伴い、国内の設備は将来にわたり安定的な需要が見込まれる高付加価値製品の生産、新製品の開発等が中心となり、当社グループにおいて使用可能期間にわたり長期安定的に使用されることとなります。

主要製品の海外子会社への生産移管がほぼ完了したため、当連結会計年度以降、国内の設備については安定的な稼働になることから、当社の有形固定資産の減価償却方法について検討した結果、定額法に変更することが当社グループの経済的便益の消費パターンを適切に反映させることができると判断いたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ69,695千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、(セグメント情報等)に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,437,702	5,705,833
受取手形及び売掛金	1,663,425	1,570,779
有価証券	1,500,730	1,302,608
製品	802,793	956,047
仕掛品	1,401,644	1,537,636
原材料及び貯蔵品	838,342	995,779
繰延税金資産	212,133	114,399
その他	180,135	144,760
貸倒引当金	△2,500	△2,357
流動資産合計	13,034,406	12,325,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,532,745	2,593,694
機械装置及び運搬具（純額）	1,785,251	2,444,051
土地	1,146,656	1,146,656
その他（純額）	406,830	622,616
有形固定資産合計	5,871,483	6,807,019
無形固定資産		
ソフトウェア	17,000	15,919
その他	61,231	63,921
無形固定資産合計	78,232	79,840
投資その他の資産		
投資有価証券	1,809,002	2,458,117
繰延税金資産	111,160	2,646
保険積立金	338,302	342,760
その他	211	5,670
貸倒引当金	—	△1,063
投資その他の資産合計	2,258,676	2,808,131
固定資産合計	8,208,392	9,694,991
資産合計	21,242,799	22,020,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,648	91,745
未払金	449,449	485,078
未払法人税等	731,506	119,610
賞与引当金	269,349	165,212
災害損失引当金	61,590	61,590
その他	94,438	386,882
流動負債合計	1,680,982	1,310,119
固定負債		
繰延税金負債	—	83,790
退職給付引当金	152,100	162,837
役員退職慰労引当金	242,200	249,260
その他	19,400	19,400
固定負債合計	413,700	515,287
負債合計	2,094,682	1,825,406
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	19,314,494	20,123,873
自己株式	△1,614,376	△2,341,189
株主資本合計	19,725,161	19,807,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,797	434,229
為替換算調整勘定	△649,842	△46,886
その他の包括利益累計額合計	△577,044	387,343
純資産合計	19,148,116	20,195,070
負債純資産合計	21,242,799	22,020,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	7,116,090	6,639,235
売上原価	2,521,106	2,557,315
売上総利益	4,594,984	4,081,920
販売費及び一般管理費	1,963,783	1,959,283
営業利益	2,631,200	2,122,636
営業外収益		
受取利息	24,153	17,496
受取配当金	15,412	10,293
投資事業組合運用益	—	5,518
為替差益	—	213,977
補助金収入	—	1,461
その他	8,930	9,208
営業外収益合計	48,497	257,955
営業外費用		
支払利息	110	110
投資事業組合運用損	4,679	—
為替差損	25,938	—
自己株式取得費用	2,804	3,778
その他	769	14
営業外費用合計	34,303	3,902
経常利益	2,645,394	2,376,689
特別利益		
固定資産売却益	287	297
保険解約戻金	1,000	2,391
災害保険金収入	—	890
特別利益合計	1,287	3,578
特別損失		
固定資産売却損	22	—
固定資産除却損	1,419	2,282
特別損失合計	1,441	2,282
税金等調整前四半期純利益	2,645,240	2,377,985
法人税、住民税及び事業税	934,028	778,031
法人税等調整額	81,882	92,087
法人税等合計	1,015,910	870,119
少数株主損益調整前四半期純利益	1,629,329	1,507,865
四半期純利益	1,629,329	1,507,865



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,629,329	1,507,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,859	361,432
為替換算調整勘定	61,384	602,955
その他の包括利益合計	75,243	964,387
四半期包括利益	1,704,573	2,472,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,704,573	2,472,253

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月11日 取締役会	普通株式	345,156	30	平成23年8月31日	平成23年11月8日	利益剰余金
平成24年3月15日 取締役会	普通株式	351,372	31	平成24年2月29日	平成24年5月2日	利益剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年10月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期累計期間において454,953千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,614,376千円となっております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月9日 取締役会	普通株式	351,372	31	平成24年8月31日	平成24年11月13日	利益剰余金
平成25年3月18日 取締役会	普通株式	347,113	31	平成25年2月28日	平成25年5月2日	利益剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年10月9日及び平成25年3月18日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得等により自己株式は、当第3四半期累計期間において726,813千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において2,341,189千円となっております。

## (5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,297,536	2,550,684	2,267,869	7,116,090	-	7,116,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,525	89,444	-	90,970	△90,970	-
計	2,299,062	2,640,128	2,267,869	7,207,060	△90,970	7,116,090
セグメント利益	773,756	1,208,531	648,913	2,631,200	-	2,631,200

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,490,759	1,993,004	2,155,471	6,639,235	-	6,639,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,434	95,873	-	97,308	△97,308	-
計	2,492,193	2,088,878	2,155,471	6,736,543	△97,308	6,639,235
セグメント利益	777,410	911,768	433,458	2,122,636	-	2,122,636

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、従来、当社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法(ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、全ての有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、サージカル関連製品で25,948千円、アイレス針関連製品で22,798千円、デンタル関連製品で20,948千円増加しております。